

～お弁当向け冷凍食品のスリムパッケージ開発が評価～

2024 日本パッケージングコンテスト 包装技術賞〈適正包装賞〉を受賞

味の素冷凍食品株式会社（以下、味の素冷凍食品）は、公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2024 日本パッケージングコンテスト」の包装技術賞〈適正包装賞〉を受賞し、2024年8月28日（水）に贈賞式が開催されました。当社は、テスト品として販売していた「お弁当向け冷凍食品のトレイレスでスリムなパッケージ開発」が評価され、受賞となりました。

日本パッケージングコンテストとは、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまでの、その年の包装の最高峰と優秀群を決定するもので、国内の優れたパッケージングとその技術を開発普及することを目的としています。このたび受賞した包装技術賞は、保護機能の充実、包材の適切な使用等により、包装技術的に優れているものを対象とし、優れたノウハウを活かし、包装の機能を向上させたパッケージに贈られる賞です。

※日本包装技術協会主催「2024 日本パッケージングコンテスト」URL：https://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/jpc_index.html



2024 日本パッケージングコンテスト贈賞式



マーケティング本部リテール事業部 壽福マネージャー（左）
マーケティング本部事業企画部 佐藤マネージャー（右）

今回評価されたお弁当向け冷凍食品のスリムパッケージの特徴は、スティック形状をしているパッケージに、お弁当向け冷凍食品が一行に並んで包装されている点です。トレイ不使用のため冷凍庫のスキマに「しゅっ」と収納でき、パッケージからお弁当箱に直接「ぼんっ」と盛り付けすることができ、捨てる時は小さく丸めて「ぼいっ」と廃棄ができます。毎朝の煩わしいお弁当づくりをもっと簡単に、楽しくスマートにし、さらに環境に配慮したトレイレスの包装形態にすることで、プラスチックの使用量も削減することができます。本パッケージの開発により、廃棄プラスチック量を約72%削減することができました。また外装は、段ボールのミシン目に沿って開封すると、冷凍食品売場の棚段にそのまま陳列できる輸送兼陳列段ボールにしたことで、流通現場において陳列手間を軽減することができました。



【開発したトレイレスのスリムパッケージ（左）、店頭陳列段ボール（中央、右）】

本パッケージによるテスト販売で様々な検証を行い、2024年8月11日（日）より、お弁当づくりの新しいカタチとして、スティック形状のお弁当向け新製品である、「おべんと PON™」シリーズ（「おべんと PON™ とんかつ」、「おべんと PON™ からあげ」、「おべんと PON™ メンチカツ」、「おべんと PON™ つくね」、「おべんと PON™ とり天」全 5 種類）を全国で発売しました。

当社お弁当向け冷凍食品開発担当の吉西由佳は、「環境配慮はもちろんのこと、日々のお弁当づくりの負担を少しでも減らしたいという思いから、この商品を開発した。トレイレスを次世代の当たり前にしていくことで、冷凍食品を通じて、お弁当づくりをより楽しいものに変え、環境と社会に貢献していきたい。」と今回のパッケージ開発への思いと今後の展望を伝えました。

参考資料

1. プレスリリース

2024年7月3日付 ～生活者・流通の悩みに応え、収納・物流課題を解消～
新スタイルのお弁当向け冷凍食品「おべんと PON™」新発売

URL : https://www.ffa.ajinomoto.com/_var/pdf/20240703_2.pdf

2. 当社公式サイト内「味の素冷凍食品（株）のサステナビリティ」

「環境への取り組み」～プラスチック削減～

URL : <https://www.ffa.ajinomoto.com/sustainability/environment/plastic>